

## かながわあきんの祭典 報告書

■事業名：第1回 新大船商店街 朝市祭

■期 間：平成29年3月5日(日) 10:00～14:00

■場 所：新大船商店街ストリート

■事業内容・目的

現在県内各地の商店街は、長引く景気低迷、ライフスタイルの変化、大規模商業施設の出店、後継者不足などから低迷を続けておりますが、新大船商店街も最寄り駅からバス利用で15分～20分もかかり、起伏の激しい立地から車で大型店への買い物に出かける方が多く低迷しております。また、空き店舗も多く地元住民とのコミュニケーションも取りにくい状況です。このような中で、今回、朝市を中心としたイベントを行い商店街をもう一度知って頂き、地域とともに盛り上げていくことを目的とした。

■結果報告

1. チラシを地域エリアの新聞折込・店舗配布にて7,000枚周知。
2. ポスター200枚を各店舗、自治会掲示板、公共施設等で掲示。
3. 地域のタウンニュースで周知。
4. 来場者数は約800人
5. かながわあきんの祭典部会ブースとしてミニゲームコーナーと塗り絵・お絵かき缶バッジコーナーを設置。各コーナーとも100人以上の利用があった。
6. かながわ朝市ネットワークの協力で朝市ブースとして神奈川県内の店舗が34店舗が出店。
7. 近隣の港南台商店街が応援ブースで出店。
8. 地元の子供会が応援ブースとして出店。
9. かながわあきんの祭典部会メンバーの呼びかけによりミニステージを設置。6グループがパフォーマンスで盛り上げた。司会・進行はメンバーが担当。
10. 閉会では新大船商店街会長より朝市とステージ参加者に感謝状が贈られた。
11. お客様の反応
  - ・商店街があることを初めて知りました。
  - ・新聞折込でイベントの事を知り来ました。
  - ・タウンニュースの掲載を見て来ました。
  - ・SNSの情報を見て興味があり来ました。
  - ・数十年ぶりに商店街の活気ある姿を見られて嬉しい。
  - ・近くに商店街がある事を今まで知らなかったのが驚きました。
  - ・目の前の保育園に通っているが商店街がある事を知らなかった。
  - ・これから継続的にイベントをしてもらいたい。
  - ・子どもたちの喜ぶ顔が見られた。
  - ・ステージの方々が素敵だった。
  - ・色々な地域の美味しいものが食べられて嬉しかった。
  - ・商店街の昔懐かしい風景が見られて嬉しい。
  - ・商店街に生鮮産品があれば活用できるが、今はスーパーに通っている。

- ・ 駐車場や交通手段が無いので中々来られない。
- ・ バスが出ていたので今回はイベントに来られた。
- ・ こんなに商店街にお店が出ていて驚いた。
- ・ 次回もあれば来たい。

## 12. 商店街役員の反応

- ・ 夢のような時間を有難うございました。
- ・ サービス業で店舗シャッターをいつも閉めているので協力できなく申し訳ないと思う。
- ・ こんなに商店街のお客様が来るなんて驚いた。
- ・ たくさん子どもたちが商店街を歩いているのに感動した。
- ・ 今回をきっかけに商店街の店舗と話し合っていきたい。
- ・ これからイベントやチラシなど商店街として何か策を考えたい。
- ・ 商店街の新たなスタートとなった。
- ・ 生鮮産品が商店街にないので空き店舗に入ってもらいたい。
- ・ 地域エリアに商店街を知って頂く機会となった。

## ■ イベント写真

**第1回 新大船商店街朝市祭**  
 イベント盛り沢山!!  
 ◆新大船商店街と県内30店舗の朝市が勢揃い!!  
 ◆プロミュージシャンと地元小学生のコラボや商店街バンド演奏、商店主おもしろ講座などのミニステージ  
 ◆昭和のおそびブースやお絵描きをバッジづくりなど

日時: 2017年3月5日(日) 10:00~14:00  
 会場: 新大船商店街ストリート

**かがわ県内のお店30店舗以上が勢揃い!!**  
 地元中心のミニステージ

時間	演目
10:00	開会セレモニー
10:30	北村祥寿とアユエスベリエンバンド
	網干 隆貴
	松本 芳雄
	藤原 哲成
11:30	商店主パフォーマンス
12:00	Yal Voices
	小学生とコスベルの合奏
13:20	表彰
13:30	閉会セレモニー
13:45	エンディング





## ■まとめ

第1回 新大船商店街 朝市祭には地域内外のお客様が大変多く来店。近隣の新聞折込と地域版のタウンニュースを活用した宣伝告知が大きな集客に繋がった。また、最寄駅からバスで15分～20分かかるリスクを地元企業の協力により無料送迎シャトルバスを運行して頂くことで解消できた。朝市では、近隣エリア商店街・朝市ネットワーク・地元子供会の協力で色々な店舗が参加して頂き地元では食せないB級グルメや物産などの販売もあり賑わった。ミニステージでは、地元栄区商連のバンドを中心にプロミュージシャンのライブもありで楽しいステージになった。

今回のイベントを通じ地域のお客様に改めて商店街の存在と地域コミュニケーションの場として商店街を提供する機会が持てたことは大いに価値のあることだと思う。これをきっかけに新大船商店街が規模の大小は関係なく第2回、第3回と進めていくことをお願いしたい。また、あきんどの祭典実行委員会としては、神奈川の商店街の頑張っている方々が知恵を出し合い、衰退していく商店街を企画やイベントを通じて、仲間意識や情報交換をすることで盛り上げ、次世代の商業者へと商店街を引き継いでいけるようにすることが重要であると感じた。